

2014年2月7日

株式会社クレディセゾン(8253) 2013年度4-12月期決算発表

2013年度4-12月期は、個人消費の回復により高額商品の売り上げが拡大したことや、消費税増税を前にした駆け込み需要期に合わせ夏のボーナス払いやリボ払いなど、多様なお支払い方法の訴求やカード利用活性プロモーションを実施したことにより、ショッピング取扱高は前年より6.6%増加しました。ネットビジネスでは、ポイントサイト「永久不滅.com」における取扱高も8.2%増加し、ネット会員は今期105万人増え961万人となり、ネットを活用した加盟店への会員送客サービス「セゾンCLO」を開始するなど、収益基盤を拡充してまいりました。また、クレジットカードの獲得、利用促進に加えて、プリペイドカードやスマートフォン決済サービスの普及に向けて積極的な営業展開を図り、キャッシュレス社会の実現に向けて取り組んでまいりました。さらに、ノンバンクとしての総合的な事業の成長を目指し、リース事業は、新規提携販売店の拡大に加え、取扱商材の拡充を図り、今後の安定的な成長に向けて基盤を築いた結果、リース取扱高は前年より6.9%増加しました。ファイナンス事業では、信用保証事業において、新たに京都中央信用金庫でのフリーローン保証商品の取扱いを開始したことと、提携金融機関と密接な連携により保証残高が前期末より12.7%増加しました。また、消費税増税前の利用拡大を背景に長期固定金利住宅ローン「フラット35」の実行件数・金額の増加により、営業収益は前年より9.5%増加しました。これらの結果、営業収益 1,865 億円(前年同期比 1.4%増)、営業利益 333 億円(同 0.7%増)、経常利益 424 億円(同 3.3%増)、四半期純利益 275 億円(同 5.6%増)となりました。

当連結会計年度のセグメント別業績概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1) クレジットサービス事業

取扱高の拡大を目的とした顧客基盤の拡充では、高稼動・高単価が見込まれるカード会員の拡大に向け、インターネット経由での申込みや、提携小売業店舗との連携による申込みが堅調に進み、194万枚(前年同期比2.8%増)の新規カードを獲得いたしました。ショッピングでは、個人消費の回復により、百貨店や家電など高額消費が拡大したことや消費税増税前の駆け込み需要期に合わせた提携小売店舗と連携したカード利用活性プロモーションが好調に推移しました。また、八重洲/日本橋・京都・札幌の各エリアでは、小売業・クレジットカード各社と連携してカード利用を通じて各エリアの地域活性に貢献してまいりました。通信、公共料金等の利用も伸長した結果、ショッピング取扱高は2兆8,318億円(同6.6%増)となりました。また、キャッシュレス社会の実現に向けた取り組みとして、4月より発行を開始したVisaプリペイドカード「ココカラクラブカード」は266万枚を発行し、順調に進捗しております。さらに、スマートフォン決済サービス「Coiney」の普及に向けて、カード加盟店営業を強化してまいりました。一方で、今後の成長基盤づくりに向けた積極的な新規カード獲得やプロモーションに伴う先行投資を行った結果、クレジットサービス事業全体での営業収益は1,419億円(同1.2%減)、営業利益は159億円(同17.6%減)となりました。

(2)リース事業

リース事業では、新規提携販売店の拡大に加え、既存の主力販売店を中心に提携先のニーズに合わせたキャンペーンの推進や厨房機器など取扱商材の拡充により、取扱高は 780 億円(前年同期比 6.1%増)となりました。レンタル事業では、省エネ需要に対応した LED 照明の販売拡大により、取扱高が 54 億円(同 20.9%増)となりました。これらの結果、同事業全体での取扱高は 835 億円(同 6.9%増)となりました。

(3)ファイナンス事業

信用保証事業では、提携金融機関と営業・管理両面にわたり密接な連携を行った結果、保証残高は 2,223 億円(前期末比 12.7%増)と順調に推移しました。また、2013 年 12 月より、新たに京都中央信用金庫において、フリーローン保証商品の取扱いを開始しました。長期固定金利住宅ローン「フラット 35」では、消費税増税前の利用拡大を背景に、併せローン「フラット 35PLUS」併用による 10 割融資の継続や、販売チャネルの拡大により、実行金額は 479 億円(前年同期比 46.0%増)、貸出残高は 1,941 億円(同 38.4%増)と大幅に拡大しました。「セゾンの資産形成ローン」は、2013 年 12 月より新商品としてアパートメント購入ローンの販売を開始し、実行金額 157 億円と順調に推移しており、多彩なファイナンスビジネスに取り組んでおります。債権管理の徹底にも努めた結果、同事業全体の営業収益は 140 億円(同 9.5%増)、営業利益は 71 億円(同 6.8%増)となりました。

(4)不動産関連事業

連結子会社(株)アトリウムにおいては、積極的な営業活動や不動産市況の回復もあり、順調に進捗しております。

2. 経常利益・純利益概況

良質債権の拡大に向けてリスクマネジメントを徹底した結果、貸倒関連費用は 142 億円(前年同期比 20.5%減)と減少しました。一方で、今後の成長基盤づくりに向けて、新規カード獲得や利用促進に伴う先行投資を行い、営業費用は 1,531 億円(同 1.6%増)、経常利益は 424 億円(同 3.3%増)となりました。以上の結果、四半期純利益は 275 億円(同 5.6 %増)となりました。

以上

(ご参考)

◆2013 年度 4-12 期の単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	254 万枚	(前年同期比 0.8%増)
(2)新規カード発行枚数	:	194 万枚	(前年同期比 2.8%増)
(3)カード総会員数	:	2,479 万人	(前期末からの純減数 3 万人)
(4)稼働会員数	:	1,409 万人	(前期末からの純増数 47 万人)
(5)稼働率	:	56.8%	(前期末から 1.9%増)
(6)カードショッピング取扱高	:	2 兆 8,318 億円	(前年同期比 6.6%増)
(7)カードショッピングリボ残高	:	2,640 億円	(前年同期比 0.5%増)
(8)カードキャッシング取扱高	:	1,954 億円	(前年同期比 0.3%減)
(9)カードキャッシング残高	:	2,176 億円	(前年同期比 11.4%減)
(10)営業収益	:	1,536 億円	(前年同期比 0.0%減)
(11)経常利益	:	305 億円	(前年同期比 4.3%減)
(12)四半期純利益	:	175 億円	(前年同期比 9.7%減)